

## 佐久間さん（2019年春期講座受講）

日本赤十字社 国際部

\* ご所属およびポジションはインタビュー時点のものです

### 1. 本講座を受講したきっかけを教えてください。

学部生・院生時代に教育開発分野を学びましたが、紛争や自然災害といった人道危機における教育の役割についても関心があったことから、「教育」の視点からだけでなく、「人道支援」という視点からも「教育」について学んでみたいと思い受講しました。受講した当時は今と異なる部署におり、直接的に緊急人道支援に携わる機会はありませんでしたが、日本赤十字社に入社したこともあり、人道支援について体系的に理解したいと思ったこともきっかけです。

### 2. 講座での学びやネットワークなどがその後の進路や考え方に影響しましたか。また、その後の仕事にどう活かされているか教えてください。

講座を通して、人道支援の概念がいかに発展、体系化されてきたのかを学べたことはとても有意義でした。「人道支援」という言葉は聞き馴染みがありましたが、それが単に人助けを指すのでは意味するのではなく、これまで人道支援活動に従事してきた人々の反省や教訓をもとに原則や支援の方法が構築されてきたと知り、驚いたことを覚えています。人道危機下において人々のニーズに応えるためには、困っている人々の助けになりたいという気持ちだけでなく、人道支援活動を展開するうえでのスキルを身につけることが欠かせないと気づきました。世界中で人道危機が絶え間ないなか、助けを必要とする人々に支援を届けるために、自分が立ち返ることのできる「人道支援」の基礎を学べたと感じています。また、普段は自分の所属組織から見た人道支援に目が行きがちですが、本講座で多種多様な組織、分野の視点から人道支援について、他の受講者とのディスカッションを通して考えを深められました。この学びにより、広い視点から人道支援を捉えることの重要性を認識することができました。

### 3. これから本講座の受講を考えている皆さんへメッセージをお願いします。

人道支援の切り口は、教育や保健、衛生、ジェンダーなど多岐にわたります。一方で実際の人道支援活動の場面では、様々な支援団体がそれぞれの強みを活かしながら、協働することも少なくありません。講義を通して、人道支援活動においてリードをとるような組織で活動される講師の方々から学べたことだけでなく、受講者同士でも繋がりを築けたことは、貴重な時間だったと感じています。私自身もまだまだ人道支援について学んでいるなかですが、人道支援分野について学ぶ仲間が増えたらいいなと思っています。

佐久間さん、ご協力ありがとうございました。